



土合連合高年会 (高年会13団体)



「健康・友愛・奉仕」
イトーピア西浦和はつらつ会
会長 岡崎憲次

イトーピア西浦和はつらつ会は、創立18年を迎えました。会員数は107名です。会の運営は会費とイトーピア西浦和自治会、桜区役所高齢介護課、土合地区社会福祉協議会からの助成金によって行っています。

通年の主な活動は、原則として毎月第1日曜日は健康維持・増進を図る「ボウリングの会」です。最終日曜日には「サロン会、囲碁・将棋の会」、5月は「一泊二日の研修旅行」、9月には「敬老食事会」、1月は「新年会」を実施し、会員の親睦を深めています。サロン会の出席者は通常25名前後です。そのほか、自治会が実施している「地域の清掃活動(隔週)」「納涼の集い」「防災訓練」「餅つき大会」にも多くの方が参画しています。また、さいたま市桜区老人クラブ連合会が開催する「グラウンド・ゴルフ大会」「芸能大会」や土合連合高年会が開催する「芸能大会」にも多くの方が参加して楽しんでおります。その他に、赤い羽根共同募金活動の駅頭募金にも協力しています。

日頃よりイトーピア西浦和はつらつ会事業活動へのご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

民生委員・児童委員協議会 (土合地区・田島地区)

「土合地区社協とのかかわり」
土合地区民児協 会長 島崎さち子

土合地区には土合地区民児協と田島地区民児協の二つの民児協があり、それぞれ民生委員独自の活動を行うとともに、土合地区社協の構成員として日々の活動にかかわっています。具体的には、地域の敬老会事業のご案内や記念品のお届け、敬老のつどいの準備・運営、またふれあい会食や高齢者サロンなど、中心となって活動しています。

今年の敬老会事業について、第三支部では広い会場の都合がつかず、記念品の配布となりました。その時のことです。一人暮らしの高齢者を訪ねたところ、

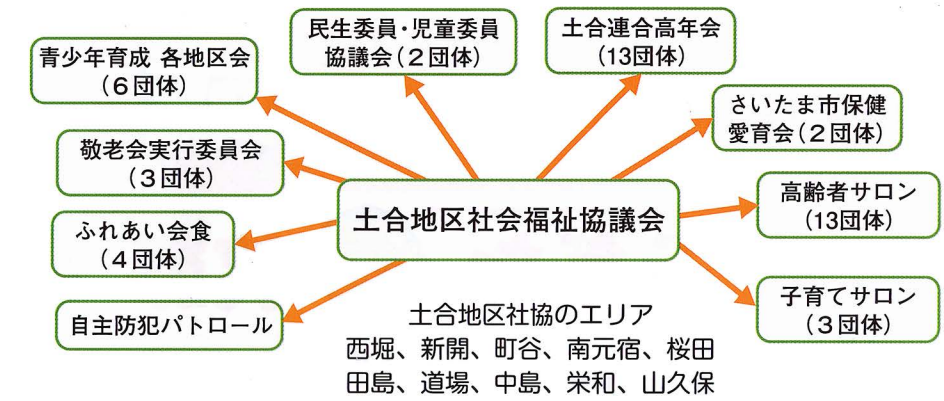
「あーうれしい、来てくれたのね、よかったわ、入って」
と、92歳とは思えない力強い声で抱きつかれました。また、時には話がはずんで長話になることもしばしばあります。

高齢者の見守りをしている私たちが、実は地域の皆さんから大きな励ましの力を頂いていることを日々感じながら活動を続けています。



土合地区社協では、ご協力いただいている賛助会費などから地域で福祉活動を行っている団体に対し補助金を交付し、活動を支援しています。その中で、土合地区社協と連携し、長く協力関係にある団体をご紹介します。

他にも、高齢者サロン連絡会、子育てサロン、ふれあい会食調理ボランティア、自主防犯パトロール、敬老会実行委員会に補助金を交付しています。



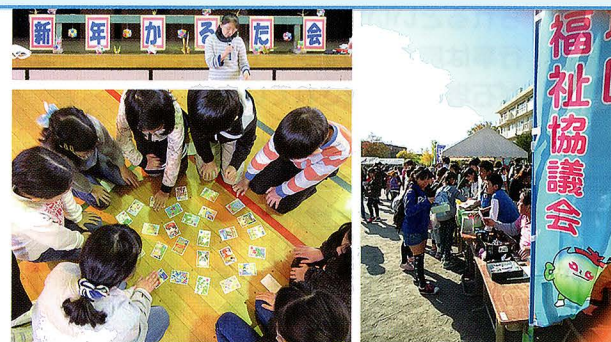
青少年育成各地区会 (栄和・新開・田島・土合・中島・西浦和)

「子ども達のすこやかな成長を願って」
栄和地区会 会長 向山幸雄

「地域の子どもの健全育成は地域の手で」を合言葉に、各地区会では地域青少年の非行および事故防止のために、環境の浄化、街頭巡回活動等の他に体験活動なども行っております。

この地区会活動は、さいたま市や土合地区社会福祉協議会、土合防犯協会などからの助成金や、各自治会からの分担金等で活動させていただいております。これらの活動には小中学校の先生方やPTA、地域の皆さんにも大変ご協力していただき感謝申し上げます。

さて、昨今の事件、事故の報道に接しますと、思いもよらないことが起こっており大変に胸が痛みます。他人への迷惑や命の大切さ、自由にも責任が伴うことなど、またしつけが過保護にならないよう家庭で話し合う機会を持っていたければと思います。育成会としても、「他人を思いやる心」を育むよう、今後活動を続けていきたいと考えております。



さいたま市保健愛育会 (西堀地区・土合西地区)

「赤ちゃんからお年寄りまでの
ボランティア」
西堀地区 会長 上野千江子

保健愛育会は今年で25周年を迎えることができました。これもひとえに地域の皆様の温かいご理解とご指導の賜物と愛育班員一同心よりお礼申し上げます。

地区社協との活動では、子育て支援の一環として「ママと赤ちゃんのふれあい広場」があり、色紙に手形と足形を取り、お子さんの成長のアルバムの1ページにと毎年お母さんたちに喜ばれております。

また、門前自治会では愛育班員が「高齢者サロン」を立ち上げ、茶話会・出前講座・新年会・うたごえ喫茶・折り紙教室等、毎月30名程度の高齢者の方をお迎えし、楽しいひと時を過ごしております。愛育会主催の「西堀地区敬老の集い」では今年170名ほどの方が参加され、私たちの手料理を喜んで召し上がってくださいました。他にも桜区保健センターによる育児相談も年4回お手伝いしています。

愛育班員は、「今日はお元気ですか」「お変わりありませんか」「どうかしましたか」「大丈夫ですか」の声かけ運動をモットーにして日々活動をしています。